

授業科目 生活援助技術 IV

【担当教員名】 牧野 令子	対象学年	2	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	○	◎

【概要・一般目標：G10】
 ・食生活について重点的に学ぶ。
 ・在宅や施設を支援するための必要な食事についての基礎知識と、その知識に基づいた調理の技術を身につける。

【学習目標・行動目標：SBO】
 1 生活を維持していく上での、食事の重要性が理解できる。
 2 人間の生活における食事の意味することが理解できる。
 3 食事についてのさまざまな介助技法や調理方法を学び身につけることができる。
 4 さまざまな介助方法が実践できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	生活維持のための食事	1	講義、担当：牧野 令子
2	生活維持のための栄養	1	講義、担当：牧野 令子
3	生活維持のための栄養	2	講義、担当：牧野 令子
4	生活維持のための栄養	2	講義、担当：牧野 令子
5	生活維持のための栄養	2	講義、担当：牧野 令子
6	生活維持のための栄養	2	講義、担当：牧野 令子
7	生活維持のための栄養	2	講義、担当：牧野 令子
8	生活維持のための調理	2	講義、担当：牧野 令子
9	生活維持のための調理	2	講義、担当：牧野 令子
10	生活維持のための調理	3	講義、担当：牧野 令子
11	生活維持のための調理	3	講義、担当：牧野 令子
12	生活維持のための調理	3	講義、担当：牧野 令子
13	生活維持のための調理	3	実技演習、担当：牧野 令子
14	生活維持のための調理	3	講義、担当：牧野 令子
15	生活維持のための調理	3	実技演習、担当：牧野 令子
16	生活維持のための調理	3	実技演習、担当：牧野 令子
17	生活維持のための調理	3	実技演習、担当：牧野 令子
18	生活維持のための調理	3	実技演習、担当：牧野 令子
19	生活維持のための調理	3	実技演習、担当：牧野 令子
20	生活維持のための調理	3	実技演習、担当：牧野 令子
21	生活維持のための調理	3	実技演習、担当：牧野 令子
22	生活維持のための調理	3	実技演習、担当：牧野 令子
23	生活維持のための調理	3	実技演習、担当：牧野 令子
24	生活維持のための調理	3	実技演習、担当：牧野 令子
25	生活維持のための調理	3	実技演習、担当：牧野 令子
26	状態に合わせた調理	3	実技演習、担当：牧野 令子
27	食事介助の実際	4	実技演習、担当：牧野 令子
28	食事介助の実際	4	実技演習、担当：牧野 令子
29	食事介助の実際	4	実技演習、担当：牧野 令子
30	食事介助の実際	4	実技演習、担当：牧野 令子

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席・実技や演習への参加態度・実技で評価	【履修上の留意点】 実技が中心の授業となりますので、動きやすい服装と上履きが必要です。
--------------------------------	--